

ガリンコ号冬期運航  
(3月31日まで)

予約制

出航便	出航時刻
臨時便※1	8:00
1便	9:30
2便	11:00
3便	12:20
4便	13:40
チャレンジ便※2	15:00

※1出航は問い合わせください  
※2流氷が沖に離れた時には、最大で30分まで時間を延長して流氷を追いかけます。

乗船料金

大人3千円、小人千500円

※流氷が無い場合は青海料金を

大人2千100円、小人千500円

市民割引(空席がある場合)

大人千500円、小人750円

※市外の方と乗船する場合

市民大人千円(市外の方は通常料金)

常料金)

ジュニアキャブテン募集

制服・制帽を貸しお客様

のお出迎え・お見送りなどを

します。(予約制)

対象 5〜10歳くらいの児童

図オホーツク・ガリンコタワー(株)

☎(24)8000番



紋高養通信

「芸術鑑賞会」

網走管内音楽教諭による第30回研修演奏会を本校の芸術鑑賞会として1月25日に実施しました。今までと違った生のクラシックを保護者や地域の方々にも足を運んで頂き、心地よい楽器や歌声と一緒に聴くことができました。

本校の職員によるピアノ連弾で幕開けです。生徒は、ドラマ「のだめカンタービレ」で聴き覚えのあるブラームス作曲ハンガリー舞曲1、5番の見事な連弾に釘付けになりました。その他にも、他校の音楽教諭による「千の風になって」のクラリネット演奏、テノールの独奏、ポップで有名な「アゲハ蝶」のピアノの連弾など幅広い曲目を披露して頂きました。

終盤には、13人によるリコーダー合奏が披露されました。生徒たちも小・中学校で使ったことのある見慣れたソプラノリコーダーや、今までに見たことのない大きく低い音のバスリコーダーなど様々な種類のリコーダーが登場しました。息のあった「ディズニー・メドレー」の演奏に、生徒も身体を

揺らして楽しんでいました。また、「ディズニー・メドレー」を聴いて何の映画に使われている曲かを当てるクイズをし、多くの生徒が自信満々で答えていました。プログラムの最後には、紋別北高校との音楽交流でも慣れ親しんでいる「ビリーブ」を演奏者と共に生徒全員で合唱しました。生徒たちだけではなく、悪天候の中、ご来場くださった皆さまにも暖かい歌声が届き、鑑賞会を終えることとなりました。

さて、先月22日に1、2年生の今年度最後の現場実習が終わりました。今年度も市内のたくさんの事業所にご協力いただき、多くの生徒たちが貴重な経験をすることができました。ご協力いただいた皆さま、ありがとうございました。

紋別養護学校通信

「冬休み作品展」

本校では、夏休み・冬休みの課題として子どもたちが家庭で作成した作品(絵画や工作など)を集め、休み明けに作品展を実施しています。平成19年度冬休み作品展は、1月24日から2月1日まで行われ、今回も力作の数々が本校児童生徒玄関ホールに展示されました。

出展された作品のいくつかを紹介します。

- ・今年の干支にちなんだ「ね」や「子」の書き初めや絵画
- ・巨大年賀状
- ・流氷やとっかりの絵画
- ・子どもたちの好きなキャラクターをモチーフにした絵画(おしりかじり虫、ドラゴンボール、アンパンマン、バカ殿様とドコモダケ)
- ・冬にちなんだ絵画(クリスマスツリー、ゆきだるま、お正月など)
- ・個性あふれる工作(凧、糸電話、ペーパークラフト、牛乳パックの車、アイロンビーズ、空き容器を使ったビー玉転がしゲームなど)
- ・自分の名前をはり絵にした作品

冬休み作品展



線をなぞってかく、はさみを使って切る、示されたところには、クレヨンやペンを使って自由に塗るなど、子どもたちが普段の学習で取り組んでいる課題に添って

自分でできるところをがんばったり、自分でイメージを膨らませて描いた作品もありました。また、家族の方と協力して作ったもの、休日等に利用しているサポートセンター「もべつ」とや、知的しょうがい者更生施設「清流の里」のスタッフの方と一緒に作ったものもありました。

審査員の先生により作品の金賞、銀賞、銅賞が決まり、1月末の全校集会で冬休み作品展の表彰式が行われました。表彰された子どもたちは、嬉しそうに賞状を受け取っていました。

作品を本校ホームページにて掲載しています。どうぞご覧ください。

ホームページアドレス [http://www.monyo.hokkaido-c.ed.jp/sakuhinten\\_fuyu/top.html](http://www.monyo.hokkaido-c.ed.jp/sakuhinten_fuyu/top.html)



# まちの出来事



## 流水まつり10万人が堪能

13年ぶりの好条件に恵まれる

紋別の冬の最大のイベント、第46回もんべつ流水まつりが2月8日から11日まで、海洋公園イベント広場で開かれしました。今年は雪が少なく冷え込みが厳しかった影響で氷の透明度は抜群。びっしり接岸する流水にも恵まれ、最高のまつりになりました。

メイン氷像は、洞爺湖サミットを記念した「ザ・ウィンザーホテル洞爺」。幅25メー



トル、高さ10メートルのどっしりとした構えが特長。遠軽自衛隊の支援隊が氷柱4千本を使って手がけました。9日からはイベントラッシュが続き、氷柱ガマン抱きつき大会など、会場に歓声があふれていました。

期間中は天候にも恵まれ、多くの市民や観光客が美しく輝く氷像群を楽しみました。同まつり実行委員会（畑中正義委員長）によると4日間での入込みは10万人を超え、畑中委員長は「こんなに恵まれ

## 今年も1カ月のロングラン

### 流水あいすらんど共和国

紋別の流水観光を支える市民グループ、流水あいすらんど共和国（代表＝森安春大統領）が2月1日から3月2日までの1カ月間、海洋公園イベント広場の「みなどの迎賓館」に開国。観光客をもてなしたほか、流水まつりイベントの「氷点下まるかじりパーティー」



と「流水結婚式」を主催するなど、24年目の今年も活発な活動を繰り広げました。2月1日には開国セレモニーが行われ、9日の氷点下まるかじりパーティーには市民や観光客800人ほどが参加。炭火焼で海産物や焼肉などを楽しまました。アイスステージでは地元の流水太鼓やよさこいソーランチームが華やかなパフォーマンスを披露したほか、ゲストのものまね歌手「しのぶちゃん」も得意とする伴田來未のものまねで会場を沸かせました。

## オホーツク海と流水をテーマに

### 第23回北方圏国際シンポジウム

た流水まつりは平成7年以来13年ぶり。近年にない最高のまつりになりました」と総括しました。

国内外の研究者がオホーツク海を中心とした海洋環境保全や温暖化防止対策などについて研究成果を持ち寄った第23回北方圏国際シンポジウムが、2月16日から20日まで、紋別市で開かれました。

17日の開会式のアトラクションでは、大谷幼稚園児がかわいしく歌を披露し、続いて紋別小金管バンドの歓迎演奏が行われ、見事な演奏に会場から大きな拍手が沸いていました。映画会では、地

球温暖化防止や温室効果ガス削減を求めた、アル・ゴア元米国副大統領が主演する地球環境ドキュメンタリー映画「不都合な真実」が上映されました。



ロシアから3人、アメリカから1人の海外講師のほか、国内から103人の研究者と市民などの参加者延べ千907人が集まり、5日間に渡り様々なテーマの分科会や公開講座が開かれたほか、農業関係者が農業と環境の関わりについて話し合う北海道農業者サロンのワークショップも加わるなど、今年は大変充実した内容のシンポジウムとなりました。